

# ドクモスカウト2011募集要項

- **内容**：2011年度の「つり情報」読者モデルをオーディション形式により決定し、釣りファンの拡大と女性アングラ育成のお手伝いをさせていただきます。
- **応募条件**：自薦他薦を問わず、18歳以上35歳未満の釣り好き女性に限りです。
- **選考方法**：毎月1名、書類審査通過者に取材釣行していただき、つり情報発行人、ドクモスカウト事務局、カメラマン、船長の4人により基礎点を採点。12名の女性アングラがそろったところで、最終審査として全員で仕立船釣行し、グランプリを選出します。
- **応募方法**：WEBからの応募は、つり情報 WEBサイトにある「ドクモスカウト2011」のページから。  
ケータイからの応募はコチラ→  
さらに詳しく…



▲八景沖の20~25メートルポイント



▲放流サイズは1尾も交じらなかった



▼手袋をしていたらエサ付けが面倒なのに



▲乗船者も水温低下に苦戦  
▼型がよかったのが救いだ



お正月の気も  
釣りに集中でき



ほかにあし  
はな

▲両目が開いてホッと一息  
▼弁天屋の新造船には温水循環パイプが設置されているので、冬でもぬくぬく

使いためた。井上さんに初めてのあたりがきたのもそんな時だった。軟調竿を気持ちよく曲げ、「メバルって結構引くんですね」と言いながら、18センチの標準サイズを取り込む。

船中ではアジ交じりでポツポツとメバルが取り込まれる。開幕以来最低の日と船長が言うだけあって、食いは終始ポツポツといった状態。納竿30分前に井上さんはもう1尾を釣って、結局この日は2尾で終了。15~25センチを竿頭で7尾、アジ多数交じるといふ今一つの釣果だった。低水温に澄み潮という悪条件ではやむを得ないところだろう。メバルは春の魚、これからの好転に期待したいところだ。港に戻ると、船長は午後船の出船準備。井上さんは午後にも乗船したが、あんなにスタツフに所用がありやむなく断念。釣り好きな一面を垣間見る一幕でした。

♥息が白く見える寒さの中、苦勞して釣った1尾目。うれしさが伝わってきます



初めてのメバルです。  
しかもおもしろい。



▲長竿の取り扱いには少しばかり苦勞していた

東京湾内では2月1日にメバル釣りが開幕したばかり。メバルは釣り方自体、それほど難しくないので初心者にも気軽にチャレンジできる。今回登場していただく井上宏美さんは船釣り初心者、もちろんメバルも未経験という方。まさにうってつけの釣り物だろう。

この日は早朝からみぞれ交じりの空模様、北風が冷たく頼を刺す寒い日。それでも総勢6人の釣り客は寒さなんのそのの重裝備で船に乗り込んだ。7時15分に出船し、まずは航程20分の25メートルダチから釣り始める。井上さんのエビエサの付け方は、出船前に船長からレクチャーされたとおり、まずは合格点だ。



開始直後は芳しくなかったが、徐々に気温が上がり始めたのか、ようやくメバルが口を

開始から15分ほどして船中1号の20センチ級が上がるが、後が続かない。10度台と急激に下がった水温が原因のようだ。30分ほど粘ったものの、船中数尾の釣果に船長は「このポイントを決めて八景前の20メートルダチに移動する。」

# 女性読者モデルオーディション

# ドクモスカウト DOKUMO 2011



参加者大募集

第1次審査 vol.7  
東京湾金沢  
八景沖のメバル  
東京湾奥金沢八景  
弁天屋

写真◎井坂英樹 文◎本誌編集部



7th チャレンジヤー  
♥井上 宏美さん  
いのうえひろみ  
プロフィール  
●1985年生まれ25歳  
●職業 家事手伝い  
●趣味 食べ歩き、釣り



●とにかく魚を食べることが好きで、友人にすすめられるままに釣りに行くことになり、好きになりました。応募も友人のすすめです。

## 弁天屋船長の目 Captain

(テクニック中心に20点満点で採点)  
**木村 定義船長**  
16点 ●初めてのメバルだからこんなものでしょう。エサ付けもすぐに覚えていたようで、まあ合格点です。

総合得点 Score **77**点  
100点満点  
※この点が一次審査の持ち点になります

## 採点者の目 Marker

カメラ担当 **井坂 英樹**  
17点 (ビジュアル中心に20点満点で採点)  
評価 ●ニット帽の似合う笑顔のかわいい女の子という印象。経験が少ないせいか釣りはちょっとごこちなかった。

## A: 情熱度

●釣りに対する情熱  
●実際に体験した釣りのもの、取材当日の上達度  
●釣りに関する経験、知識  
●釣りのセンス  
●船の中でムードメーカーであったか、元気だったか  
●船中の釣果に対して平均か否か

ドクモスカウト事務局代表 **徳永 隆也** 22点  
評価 ●最近父親と一緒に釣りに行くという彼女、本当に釣りが好きそうです。釣果は今一つでしたが、色々な質問にもはきはきと答えて、私たちも元気をもらいました。

## B: 上達度

●釣りのセンス  
●船の中でムードメーカーであったか、元気だったか  
●船中の釣果に対して平均か否か

つり情報代表 本誌発行人 **根岸 伸之** 22点  
評価 ●寒い日だったけど、一度も手を休めることなく釣り続けたのは評価に値する。あの寒い船上でも元気よく声を出していたのも好印象でした。もう一度、釣りをしたい気もしますが……。